

文学研究科 中国学専攻（博士課程前期課程）

2023 年 10 月 14 日

科目名	受験番号：	採点欄
英語	氏名：	

【1】次の英文の（ ）内に、文末のヒントを参考にして、適切な語を記入しなさい。

1. What can I do () you , madam? (=店員の決まり文句)
2. Sorry, I'm () a hurry. (急いでいる)
3. Out of sight, () of mind. 「去る者日々とうとし」(諺)
4. Many roads in Japan are () construction at the end of the year. (工事中)
5. Look () you leap. 「転ばぬ先の杖」(諺)
6. It's () to you whether you quit school or not. (あなた次第)
7. Bob is very good () writing short novels. (上手だ)
8. () my surprise, they divorced within a few weeks of their marriage. (驚いたことに)
9. Mr. Darwin, may I ask a favor () you? (お頼みしてもよろしいでしょうか)
10. Betty spends a lot of money () books whenever she goes to Paris. (本に)

【2】次の英文を指示に合った文章に直しなさい。

1. Now they are building the highest tower in Japan.
(受動態に) →
2. If it had not been for those books, I couldn't write the novel.
(下線部の書き換え)→ () for those books, I couldn't write the novel.
3. Love is more splendid than anything else.
(同じ意味の文に) → () is more splendid than love.

【3】次の日本語を英語に訳しなさい。

「私は、大東文化大学の学生でした。専門は、歴史ではなく、中国文学でした。」

→

【4】次の英文を日本語に訳しなさい。(答えは、答案用紙の裏面に渡っても結構です。)

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(コリン・ジョイス『“Secrets” of England』による。ただし、一部変更した箇所がある)

→

問題

2023年10月14日

二〇二四年度大東文化大学大学院【秋季】入学試験
文学研究科 中国学専攻（博士課程前期課程）

科目名

中国学設問

氏名

受験番号

採点欄

次の事項の中から、五問を選んで説明せよ。

- 1、搜神記
- 2、律詩
- 3、三蘇
- 4、西遊記
- 5、商鞅
- 6、占田・課田制
- 7、洛陽
- 8、玄武門の変
- 9、寛政異学の禁
- 10、崎門学派
- 11、坊刻本
- 12、逆書

科目名	
中国学読解	
氏名	受験番号
採点欄	

次の問題一から三のうち、一つを撰んで答えなさい。どれを撰んだか○をしなさい。（一・二・三）

一 次の文章に訓点（返り点・送り仮名）を施し、内容を解答用紙に要約しなさい。

唐段成式撰。成式字柯古、臨淄人、宰相文昌之子、官至太常卿、事蹟具唐書本傳。是書首有自序云、凡三十篇、為二十卷。今自忠志至肉攫部、凡二十九篇、尚闕其一。考語資篇後有云、「客徵鼠虱事、余戲摭作破虱錄。」今無所謂破虱錄者、蓋脫其一篇、獨存其篇首引語、綴前篇之末耳。至其續集六篇十卷、合前集為三十卷、諸史志及諸家書目並同。而胡應麟筆叢云、「酉陽雜俎世有二本、皆二十卷、無所謂續者。」近於太平廣記中鈔出續記、不及十卷。而前集漏軼者甚多、悉鈔入續記中為十卷、俟好事者刻之。又似乎其書已佚、應麟復為鈔合者。然不知應麟何以得其目。豈以意為之耶。其書多詭怪不經之談、荒渺無稽之物、而遺文秘籍、亦往往錯出其中。故論者雖病其浮誇、而不能不相徵引。自唐以來、推為小說之翹楚、莫或廢也。其曰酉陽雜俎者、蓋取梁元帝賦訪酉陽之逸典語。二酉、藏書之義也。其子曰諾臯記者、吳曾能改齋漫錄以為諾臯、太陰神名、語本抱朴子、未知確否。至其貝編、玉格、天咫、壺史諸名、則在可解不可解之間、蓋莫得而深考矣。（四庫提要『酉陽雜俎』）

二 次の文章を書き下し文に改め、かつ現代日本語に訳しなさい。

王導傳一篇凡六千餘字、殊多溢美、要之看似煌煌一代名臣、其實乃並無一事、徒有門閥顯榮、子孫官秩而已。所謂翼戴中興稱江左夷吾者、吾不知其何在也。以懼婦為蔡謨所嘲、乃斥之云、吾少遊洛中、何知有蔡克兒。導之所以驕人者、不過以門閥耳。蘇峻之亂、庾亮所召、非導之由、然導身為大臣、當任其危、而本傳始言入宮衛帝、衛帝者、欲避賊鋒也。終言賊入、導懼禍、攜二子出奔白石、則不衛帝矣。白石壘乃陶侃所築險固處、故奔此以圖免也。賊平後、乃入石頭城、令取故節、陶侃笑曰、蘇武節似不如是。導有慙色。郭默反、導言遵養時晦、侃曰、是乃遵養時賊也。皆見侃傳。導之庸鄙無恥甚矣。末一段纔說導不忌庾亮、忽又說導深惡庾亮、東起西倒、毫無定見。晉書之專務多載而不加裁翦、每如此。導兄敦反、雖非導謀、然敦欲殺温嶠、私與導書

言之。見嶠傳。欲殺周顛、亦商之於導、而導遂成之。見顛傳。導固通敦矣。導孫珣則又桓温黨也。孰謂王氏爲忠於晉哉。明帝崩、成帝卽位。羣臣進璽、導以疾不至。卞壺正色曰、王公豈社稷之臣邪。大行在殯、嗣皇未立、寧人臣辭疾時。後導又稱疾不朝、而私送車騎將軍郗鑒、壺奏導虧法從私、無大臣節、請免官。並見壺傳。導爲正直所羞如此。（『十七史商榷』）

三 次の文章に訓点（返り点・送り仮名）を施し、内容を解答用紙に要約しなさい。

夫綴文者情動而辭發、觀文者披文以入情、沿波討源、雖幽必顯。世遠莫見其面、覘文輒見其心。豈成篇之足深、患識照之自淺耳。夫志在山水、琴表其情、況形之筆端、理將焉匿？故心之照理、譬目之照形、目瞭則形無不分、心敏則理無不達。然而俗監之迷者、深廢淺售、此莊周所以笑『折楊』、宋玉所以傷『白雪』也。昔屈平有言、「文質疏內、衆不知余之異采。」見異唯知音耳。揚雄自稱、「心好沉博絕麗之文。」其不事浮淺、亦可知矣。夫唯深識鑒奧、必歡然內懌、譬春臺之熙眾人、樂餌之止過客。蓋聞蘭爲國香、服媚彌芬。書亦國華、翫澤方美。知音君子、其垂意焉。（『文心雕龍』）

科目名	受験番号：
日本語	氏名：

西湖之美，除了湖，还在于山。湖边山岭大都由砂岩、石灰岩构成，故多奇峰幽洞，而秀竹茂林，各抱姿态，泉壑幽美。溪谷林荫中掩藏着巍峨的灵隐古刹、飞来峰等名胜以及虎跑、龙井、玉泉等名泉与烟霞洞、水乐洞、黄龙洞等石洞。古来西湖十景：断桥残雪、平湖秋月、三潭印月、双峰插云、曲院风荷、苏堤春晓、花港观鱼、柳浪闻莺、南屏晚钟、雷峰夕照及今新添的十景，不少就处在这些林泉峰谷之间，各具特色，美不胜收。

西湖有幸，还与历史上众多名人的名字和业绩联系在一起，益觉生辉。自唐宋以来，最著名的有大诗人白居易和苏轼，他们都在杭州做过官，也都治理过西湖，两人都喜爱西湖的山水，给后人留下千古传诵的诗篇。又民族英雄岳飞、于谦、张煌言及民主革命家徐锡麟、秋瑾、章炳麟等都长眠于湖畔。现代历史上，这里的湖山也曾成革命活动的舞台。

观赏西湖景色，四时皆宜。晴雨风雪、晨昏晦朔，山山水水各有妙趣。苏轼有诗道：“水光潋滟晴方好，山色空濛雨亦奇。若把西湖比西子，淡妆浓抹总相宜。”这首诗既道出了西湖的景，也说明了观赏西湖的时。的确，西湖是随时都把自己的情和美慷慨地奉献给游者的。

問題

2024年2月16日

二〇二四年度大東文化大学大学院【春季】入学試験
文学研究科 中国学専攻（博士課程前期課程）

科目名

中国学設問

氏名

受験番号

採点欄

次の事項の中から、五問を選んで説明せよ。

- 1、古体詩
- 2、文心雕龍
- 3、離魂記
- 4、封神演義
- 5、淮水
- 6、河姆渡遺跡
- 7、玄宗
- 8、西夏
- 9、隋書経籍志
- 10、太平御覽
- 11、白虎觀會議
- 12、劉向

科目名	
氏名	受験番号
採点欄	

次の問題一から三のうち、一つを撰んで答えなさい。どれを撰んだか○をしなさい。（一・二・三）

一 次の文章に訓点（返り点・送り仮名）を施し、内容を解答用紙に要約しなさい。

河東薛存義將行、柳子載肉于俎、崇酒于觴、追而送之江之澚、飲食之。且告曰凡吏于土者、若知其職乎。蓋民之役、非以役民而已也。凡民之食于土者、出其十一備乎吏、使司平於我也。今受其直怠其事者、天下皆然。豈惟怠之、又從而盜之。向使傭一夫於家、受若直、怠若事、又盜若貨器、則必甚怒而黜罰之矣。以今天下多類此、而民莫敢肆其怒與黜罰何哉。勢不同也。勢不同而理同、如吾民何。有達于理者、得不恐而畏乎。存義假令零陵二年矣。蚤作而夜思、勤力而勞心、訟者平、賦者均、老弱無懷詐暴憎。其爲不虛取直也的矣、其知恐而畏也審矣。吾賤且辱、不得與考績幽明之說、於其往也、故賞以酒肉而重之以辭。（柳宗元集）

○若一汝の意。受若、怠若、盜若の若はともに同義。○的―あきらかの意。

二 次の文章を書き下し文に改め、かつ現代日本語に訳しなさい。

南齊書高帝紀、建元元年九月、詔二吳義興三郡遭水、減今年田租。二年六月、詔曲赦丹陽二吳義興四郡遭水尤劇之縣。案、前四十五卷據唐杜佑以爲晉宋齊皆以吳郡與吳興丹陽爲三吳、若以南齊此條論之、似丹陽不在三吳之數、蓋如杜佑說、元年詔二吳是吳郡吳興、添義興爲三郡猶可、二年詔既言丹陽、又言二吳、又言義興、又言四郡、若丹陽在三吳數内、何不直云三吳義興四郡乎。愚謂不然。吳郡吳興皆有吳字、自當爲二吳、義興郡起於晉、未有此郡之前、此郡地不但即吳郡、并有屬丹陽者、故必重累舉之、且元年詔因丹陽稍高、水災淹浸不及、故言二吳義興三郡、二年災并及丹陽、詔即承上年詔文而言、故云丹陽二吳義興四郡也。仍以予前辨爲正。至於南史存元年詔、刪去二年詔、或去或存、任意出入、毫無定見、李延壽之妄甚矣。

三 次の文章を書き下し文に改め、かつ現代日本語に訳しなさい。

『春秋』何貴乎元而言之。元者、始也、言本正也。道、王道也。王者、人之始也。王正則元氣和順、風雨時、景星見、黃龍下。王不正則上變天、賊氣并見。五帝三王之治天下、不敢有君民之心。什一而稅。教以愛、使以忠、敬長老、親親而尊尊、不奪民時、使民不過歲二日。民家給人足、無怨望忿怒之患、強弱之難、無讒賊妬疾之人。民修德而美好、被髮銜哺而游、不慕富貴、恥惡不犯。父不哭子、兄不哭弟。毒蟲不螫、猛獸不搏、抵蟲不觸。故天爲之下甘露、朱草生、醴泉出、風雨時、嘉禾興、鳳凰麒麟遊於郊。囿囿空虛、畫衣裳而民不犯。民情至樸而不文。郊天祀地、秩山川、以時至、封於泰山、禪於梁父。立明堂、宗祀先帝。以祖配天、天下諸侯各以其職來祭。貢土地所有、先以入宗廟、端冕盛服而後見先。德恩之報、奉先之應也。

（『春秋繁露』王道）